

# 磯子区教育研究会

## 1 研究主題（テーマ）

「社会に開かれた教育課程の創造・実践をめざして」  
～育成をめざす資質・能力に視点をあてた授業実践とカリキュラムマネジメント～

## 2 研究主題について

研究テーマを受け、次の3つの方針を踏まえて研究活動を展開してきた。

方針1 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、育成を目指す資質・能力に視点をあてた研究を推進する。

方針2 各研究会における実践提案や研修を通して、自校の教育課程運営改善に生かすようにする。

方針3 働き方改革の理念と教職員の人材育成の理念の双方を踏まえて研究を推進する。

## 3 研究方法

正に「学びをとめない」の合言葉のもと、工夫しながら研究を推進してきた。

### ○実行委員会

第1回（6月） 第2回（3月）とも紙面総会とした。

### ○各研究会

- ・集合開催：各校からの参加人数を制限
- ・オンライン開催
- ・紙面

## 4 年間活動(事業)報告

### (1) 区一斉授業研究会について

#### ○日程

【前期】 B研 令和3年11月24日（水）

【後期】 A研 令和4年1月19日（水）

#### ○担当校

【前期】		【後期】	
道徳	岡村小	国語	森東小
特別活動	汐見台小	社会	山王台小
学校図書館	洋光台第一小	算数	浜小
情報・視聴覚教育	洋光台第二小	理科	屏風浦小
学校食育	洋光台第三小	音楽	根岸小
特別支援教育	洋光台第四小	図画工作	滝頭小
生活・総合的な学習の時間	梅林小	家庭	さわの里小
外国語活動	杉田小	体育	磯子小

【前期】 ・人数を制限しての授業参観後、研究会

【後期】 ・オンラインでの授業参観後、研究会  
・授業を事前に録画しておき研究会で視聴後、研究会  
・人数を制限しての授業参観後、研究会

## (2) 研究会主催行事

区校長会と連携を図り、実施の可否を判断してきた。コロナ禍にあり、それぞれの行事の開催時期や開催方法、活動内容等を鑑みて、残念ながら中止せざるを得ない行事があった。

一方、感染対策を講じながら、区児童音楽会は磯子区公会堂で開催することができた。区図画工作巡回作品展、区読書感想画コンクール、区読書感想文コンクールは実施し、各校の学習の成果を発表する場となった。

## 5 研究の成果と課題

方針1にあるように、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、各研究会で研究テーマを設定した。そして各研究会では「育成を目指す資質・能力」は何か、その育成のためにはどのような手立てをとればいいのか検討された。また、育成を目指す資質・能力に視点をあて、カリキュラムマネジメントの推進につながるよう研究を進めてきた。

そして、方針2にあるように、各研究会における実践提案や研修を通して参会者が学んだことを、自校の教育課程運営改善に生かしてきた。コロナ禍にありながらも、参会者の人数を制限したり、オンラインや紙面での研究をしたりと、正に「学びをとめない」の合言葉のもと、工夫しながら研究を推進することで研究テーマに迫れたと考える。

コロナ禍にあり、いろいろな制限はあったが、オンラインで研究会を開催することで、移動の時間がかからずその時間を他の業務に充てられることで働き方改革につながる部分もあった。また、各校の参会者が研究内容を各校で共有することで、人材育成につながる部分も大きかったと思う。これは、方針3にもつながる。来年度も効率的かつ効果的な研究を推進するとともに、教職員の授業力、指導力の向上を念頭に研究実践を心がけていきたい。

課題は、まず研究会の開催方法である。今年度は、各研究会ともオンラインでの研究会開催が一举に増えた。そのメリット、デメリットを整理し、各教科・領域の特性や研究内容を踏まえ、より有益な研究会となるような開催方法を考えていきたい。

また、各研究会の研究内容や研究方法を区内でさらに共有できるとよい。各研究会からの発信や、研究会相互の意見交換や情報交換の在り方についても検討していきたい。

磯子区小学校教育研究会を構成する16校は、各学校で編成した教育課程の情報を共有しながら実践研究を積み重ね、各校の教育課程の運営改善に努めてきた。令和4年度も、強固に結びつきながら、語り合いながら研究を深めていきたいと思う。